



野菜のパパママは 奮闘中！

毎朝登校して来た子供たちは、水をやりながら野菜の成長を観察しています。「〇〇君のきゅうりが、大きくなっているよ」「きゅうりは大きくなったら苦くなるって、おばあちゃんが言っていたよ」「いつ収穫しようかな」子供たちは、野菜のパパママになって、自分の野菜の自慢をしたり心配なことを相談したりしています。また、「僕のナスの花の下につるつるのものがあつたけど、なんだろう」と疑問や予想をもって観察する姿も見られました。



収穫した玉ねぎでスープをつくったことや田植えの手伝いをしたことなどを書いた日記を読むと、五位小学校の子供たちは、自然に触れ合うことのできる素晴らしい環境の中で生活していることが分かります。だからこそ、プランターに植える苗を自分で選び、自分で育て、分からないことは進んで友達や家族に聞くなど、栽培活動が主体的な学びになったようです。「体験に勝るものはない」と、子供たちを見ていて思います。

☆ 見物客は、2年生？それとも…（ファミリーパークの校外学習）

25日の校外学習で子供たちが一番喜んだのは、サル山に行ったときです。たくさん見物客に驚いた子ザルが、喧嘩を始めて親ザルに止められる様子や赤ちゃんザルが母ザルに抱かれる姿を見た子供たちは、「まるで人間と同じだな」とつぶやいていました。また、「なるほど動物教室」では、草食動物（キリン）と肉食動物（トラ）の骨格と食べ物を実際に見せてもらい、他の動物を観察するときにも生かしていました。モリアオガエルの卵を見られたことも子供たちの心に残ったようです。



<子供の感想>

- ・モリアオガエルのたまごは、シャボンのあわみたいだったよ。たまごが全部オタマジャクシにかえたら、ファミリーパークの池がオタマジャクシでいっぱいになるんじゃないかな。
- ・小さい赤ちゃんザルが、お母さんの背中にぴよんと乗ったのが、かわいかったよ。まるで、赤ちゃんザルが、タクシーに乗っているみたいだったよ。

【学校からのお知らせ】

今年度の懸念事項である水泳の学習ですが、福岡町のB&G海洋センターや福岡小学校プールの使用も検討しましたが、交通費・施設使用料の問題、水泳学習に費やされる時間の問題、暑さ指数(WGBT)に関わる問題等を考慮し、今年度は水泳の実技を見送ることとしました。ただし、「水遊び・水泳運動については、学校及びその近くに適切な水泳場がない場合、事故防止の観点から、これらの心得については必ず取り上げる」という文部科学省の方針通り、水遊びや水泳をする際の心得を各学年で指導します。なお、本校プールについては、この夏から工事を始め、来年度の水泳学習に間に合うように完成すると市より連絡をいただいています。(グラウンドは、夏から着工で、年度末までには完成ということです。)

